

研究実施のお知らせ

2025年1月14日 ver.1.1

研究課題名

糖尿病の有無によるがん治療時における栄養管理・食事対応の違いの検討

研究の対象となる方

2014年4月から2022年3月の8年間担癌患者で島根大学医学部附属病院の管理栄養士が聞き取りにて入院食の食事対応を行った方

研究の目的・意義

がん患者さんは食欲低下や体重減少など栄養状態の低下が認められることも多く、栄養管理が重要です。食欲低下の原因は、化学療法や放射線治療による味覚障害、嘔気・嘔吐や下痢・便秘または精神的な落ち込みなど様々です。

がん患者さんには他の病気も合併する方は多く、糖尿病もその一つです。糖尿病患者さんの場合、血糖値の調節も重要となるため、糖尿病の病態を十分に理解したがん治療のための栄養管理や食事対応が重要です。

しかし、現時点で糖尿病を持つがん患者さんに特化した栄養管理のエビデンスや指針は整っていないのが現状です。

そこで本研究では、糖尿病をもつがん患者さんに対するより効果的な栄養管理・食事対応について検討することを目的としています。これらが明らかになれば、糖尿病をもつがん患者さんの今後の栄養治療指針の確立に貢献することが可能となります。

研究の方法

電子カルテ上から次の項目を抽出します。(当院の管理栄養士が聞き取りにて聴取・対応した患者さんの食べやすいもの、食べにくいもの、食欲低下時期、味覚異常の程度・出現時期、介入方法、年齢、性別、身長、体重、体重減少の程度、食事摂取量、悪性疾患名、発症時期、治療内容、治療期間、口内炎の有無、糖尿病の有無、糖尿病有の場合は診断時期・治療内容・合併症の有無、検査データ：TP、Alb、ChE、TTR、HbA1c (GA)、血糖値、肝・腎機能、電解質、微量元素)

上記において糖尿病合併の有無に分けて違いがあるか検討します。

研究の期間

2022年5月2日～2027年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する・情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院栄養治療室 平井順子

情報の利用停止

ご自身の・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院栄養治療室 平井順子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2074 FAX 0853-20-2074